

平成 30 年度事業報告

本法人では、昭和 62 年 4 月の養和荘の開所以降、順次施設整備等を行い、平成 30 年度末現在で、12 か所の拠点において延べ 39 の事業に取り組んでいます。基本理念である「選ばれる事業所・親しまれる事業所」に基づき、春日井市を中心とした尾張北部地域における障害福祉事業の主たる担い手として、障害のある方々がより安心して暮らせるよう安全かつ適正なサービスを提供すると共に、経営基盤の安定化、健全な法人運営に努め、サービスの質や職員の資質の向上を図ってまいりました。

平成 30 年度の主な事業実績につきましては、以下のとおりです。

なお、各拠点別の事業報告明細書は、別添のとおりで。

1. 中期計画の推進

平成 30 年度の整備予定であるグループホーム王子については、国県等の補助金内示を受けて 7 月に入札、8 月に落札業者と請負契約を締結し、以下のとおり整備しました。

規模・構造 鉄骨造 2 階建て 2 棟 延べ 264.55 m²
(男性棟 166.06 m² 2 ユニット 定員 10 名、女性棟 98.49 m² 1 ユニット 定員 5 名)

工 期 H30.8~H31.2

整 備 費 171,656,360 円

また、平成 31 年度に整備予定である養和荘厨房棟の改築及びわかばりネン分場の整備について、11 月の理事会・評議員会において建設方針を決定すると共に、基本設計を行いました。

なお、同じく平成 31 年度整備予定である養和荘グランド等については、施工上の都合により令和 2 年度に繰り延べ、第二養和荘ピロティ内増築と合わせて整備することとしました。

2. 財政基盤の安定

入札等の適正な執行、食材・消耗品等の共同発注などによりコスト削減、業務の効率化を図り、資金収支の改善に努めました。平成 28・29 年度の養楽荘・はるひ荘の開業により障害福祉サービス等事業収入が増加し、収支バランスが改善してきていることもあり、グループホーム王子の建設に当たってもより多く自己資金を投入し、借入金を低く抑えることができました。今後も借入金の償還や中期計画に基づく新施設の整備予定があるところから、引き続き業務改善に取り組み財政基盤の安定に努めていきます。

3. 人材の確保・育成

平成 31 年 4 月開所のグループホーム王子運営要員や退職者補充のため必要な人材を確保すると共に、職員の定着化や職員研修の充実に努めました。なお、本年度から新卒者確保のため、新たに奨学金償還助成制度を設けました。

(1) 職員の採用

ア. 採用状況

平成 30 年 4 月 2 日～平成 31 年 3 月 31 日採用 16 名(支援員 15 名、事務員 1 名)

平成 31 年 4 月 1 日採用 18 名(支援員 16 名、事務員 2 名) * 正規登用 9 名を含む。

イ. 正規職員登用試験結果

受験者数 12 名、合格者数 9 名(支援員 9 名)

ウ. 再雇用の状況

平成 31 年 4 月 1 日再雇用 3 名(支援員 3 名)

(2) 職員の退職

平成 30 年度中退職者 18 名(定年 3 名、自己都合 15 名)

* 定年退職者 3 名は、いずれも正規職員として再雇用。

(3) 職員の処遇改善

ア 給与等の改善

昨今の求人難の折からより質の高い人材を確保するため、以下のとおり正規職員の給与を改善しました。

(H30 年 4 月から)

住居手当の新設、通勤手当における高速料金の認定

(H30 年 7 月から)

給料表の見直し、子育て世代に配慮した扶養手当の見直し等

イ 理事長等懇談会の開催

理事長、業務執行理事と管理職を除く職員が、給与、福利厚生、職場環境等について幅広く意見交換を行うため、以下のとおり懇談会を開催しました。

開催回数 11 回 参加職員 209 名

(4) 職員研修の充実

ア. 新規採用職員研修 (11 名) とフォローアップ研修 (12 名) の実施

イ. 知的障害を理解するための基礎講座 (21 名)

ウ. 知的障害援助専門員養成通信教育の受講 (16 名)

エ. 新任副主任研修の実施 (5 名)

オ. 新任主任研修への参加 (県社協、該当者なし)

カ. 新任管理職員研修への参加 (県社協、1 名)

キ. 課題研修の実施 (10 チーム、33 名)

ク. 日本知的障害者福祉協会・愛知県知的障害者福祉協会主催等の研修に参加

4. 会議等の開催

事業報告・収支決算や事業計画・収支予算の審議及び理事長・業務執行理事の職務執行状況の報告等のため、理事会を 6 回、評議員会を 4 回開催しました。

(1) 理事会

開催日		議 題 等
1	5 月 30 日	【議題】①平成 29 年度事業報告及び収支決算、②平成 30 年度第 1 次収支補正予算、③定時評議員会の開催、④規職員給与程の改正、⑤平成 30 年度資金運用計画の変更、⑥グループホーム王子建設に係る工事入札に関する事項【報告事項】理事長及び業務執行理事の職務の執行状況
2	7 月 4 日	【議題】①グループホーム王子建設に係る工事入札に関する事項、②グループホーム王子建設に係る借入金、③奨学金償還助成制度【報告事項】どんぐりの森喫茶室実習計画
3	8 月 10 日	【議題】①平成 30 年度事業計画(地域サポートセンター拠点)の変更、②平成 30 年度第 2 次収支補正予算、③定款の変更、④規程の改正(組織規程、職員就業規則、役員旅費支給規程、経理規程)、⑤グループホーム王子建設に係る工事請負契約の締結、⑥グループホーム王子建設に係る外構工事等請負契約の締結、⑦平成 30 年度第 2 回評議員会の開催【報告事項】奨学金償還助成制度に係る大学等への推薦依頼状況
4	11 月 15 日	【議題】①養和荘厨房棟の改築、②わかば分場の建設、③平成 30 年度第 3 次収支補正予算、④養和荘厨房棟改築及びわかば分場建設に係る設計監理業者の選定、⑤第 3 回評議員会の開催、⑥契約職員等就業規則の改正【報告事項】・理事長及び業務執行理事の職務の執行状況・中間監事監査の結果・養和荘の短期入所に係るサービス提供職員欠如減算による障害福祉サービス報酬の返還

5	12月27日	【議題】①高森台地区第三期工事設計等業者の選定、②契約職員等就業規則の改正【報告事項】はるひ荘におけるスヌーズレン棟の地域開放
6	3月11日	【議題】①規程等の改正(公印取扱規程、組織規程、運営会議運営要綱、職員就業規則、職員給与規定、契約職員等給与内規、経理規定)、②職員住宅の貸与に関する要綱の廃止、③平成30年度第4次収支補正予算、④平成31年度事業計画及び収支予算、⑤平成31年度資金運用計画、⑥平成30年度第4回評議員会の開催、⑦幹部職員の人事異動【報告事項】・高森台第三期工事設計業者等の選定結果・職員等の採用・退職の状況・平成31年度社会福祉法人養楽福祉会監事監査計画

(2) 評議委員会

開催日	議 題 等
1 6月14日	【議題】①平成29年度計算書類、事業報告(附属明細書含む)及び財産目録の承認、②平成30年度第1次収支補正予算【報告事項】理事長及び業務執行理事の職務の執行状況
2 8月17日	【議題】①平成30年度事業計画(地域サポートセンター拠点)の変更、②平成30年度第2次収支補正予算、③定款の変更【報告事項】・奨学金償還助成制度・グループホーム王子建設
3 11月22日	【議題】①養和荘厨房棟の改築、②わかば分場の建設、③平成30年度第3次収支補正予算【報告事項】・理事長及び業務執行理事の職務の執行状況・中間監事監査の結果・養和荘の短期入所に係るサービス提供職員欠如減算による障害福祉サービス報酬の返還
4 3月19日	【議題】①平成30年度第4次収支補正予算、②平成31年度事業計画及び収支予算、【報告事項】・高森台第三期工事設計業者等の選定結果・職員等の採用・退職の状況・幹部職員の人事異動・平成31年度社会福祉法人養楽福祉会監事監査計画

(3) 監事監査

実 施 日	監 査 内 容
5月16日	平成29年度決算監査
10月12日・19日・24日	各施設等の巡回業務監査

(4) 運営会議

運営会議を年7回開催し、各施設の現況を共有すると共に、経営改善・事業間調整・サービス向上など施設運営に関する重要事項を協議しました。

5. 苦情解決体制の整備

「社会福祉法人養楽福祉会福祉サービスに関する苦情解決規程」を定め、苦情解決のための体制を整えています。平成30年度においては、グループホームにおける熱中症対策、勤務時間外における職員の運転マナー、パン販売における接客態度、送迎用車両への利用者の一時的な放置に関する苦情が4件寄せられました。苦情解決責任者である施設長からの事情説明によりご納得いただき、解決しています。

6. サービス評価の実施

福祉サービスの質の向上を図るため、平成27年度から「福祉サービス第三者評価」を受審しており、平成30年度は、みずほ及び養楽荘で実施しました。

7. 経営・労務管理の改善

平成28年度から公認会計士の助言・指導を受けながら、各種規程や資産管理の見直しなど経営・

労務管理の改善に取り組んでおり、平成 30 年度は、サービス報酬の請求業務や職員の勤怠管理業務の標準化作業(マニュアル作成)に取り組みました。

8. 防犯・防災対策の実施

防犯対策としては、養楽荘が中心となり各施設等へも参加を呼び掛けて、9 月 12 日に春日井警察署生活安全課の協力のもとに、36 人の職員が参加し、さすまたの操作等の防犯訓練を実施しました。

また、防災対策としては、非常災害対策計画等に基づき、各施設等において随時避難訓練を実施した他、9 月 3 日に法人全体で大規模地震・火災を想定した非常連絡訓練等を実施しました。

9. 借入金返済(借入先：独立行政法人福祉医療機構、瀬戸信用金庫)

年度当初借入残高	借入額	償還額	年度末借入残高
1,333,426,000 円	27,000,000 円	71,172,000 円	1,289,254,000 円

10. 施設整備積立金

前年度末積立額	年度中積立額	年度中取崩額	年度末積立額
114,624,923 円	272,711,000 円	0 円	387,335,923 円
◎運用状況(平成 31 年 3 月 31 日) 大口定期(5 年)30,000,000 円(瀬戸信)、第 46 回ソフトバンクグループ社債(5 年)30,000,000 円、㈱オリエントコーポレーション社債(5 年)100,000,000 円、東京電力社債(5 年)50,000,000 円、日産フィナンシャルサービス社債(5 年)100,000,000 円、1 カ月定期(瀬戸信)15,000,000 円、三菱 UFJ 銀行普通預金 62,335,923 円			

事業報告附属明細書（地域サポートセンター）

障害がある方の地域生活をサポートするために、相談支援事業、障害者相談支援体制整備事業、就業・生活支援センター事業、障害児等療育支援事業、共同生活援助事業、地域活動支援センター事業、居宅介護事業、移動支援事業、福祉有償運送事業を実施し、下半期から扶桑町においても相談支援事業（障害児・者総合相談センターふそう）を開始しました。

事業実績につきましては、以下のとおりです。

1. 障がい者生活支援センターかすがい

(1) 相談支援事業(委託相談)

春日井市からの委託を受け、事業計画どおり 2 名の有資格者を配置し、主に知的障害者及びご家族の方々への基本相談を実施しました。相談内容としては、今までどこの障害福祉サービスにも繋がっておらず、制度の隙間で困難ケースになる事案の相談も多くなりました。今後も、相談員の質の向上に努めながら、当事者に寄り添った相談・支援に努めると共に、地域自立支援協議会を始め、障がい者生活支援センター連絡会、部会などに委員として参加しながら、地域課題解決に努めてまいります。

	平成 30 年度	平成 29 年度	前年度比
相談件数	2,363 件	2,647 件	89.27%
相談者数(新規)	169 名	175 名	96.57%

(2) 特定相談支援事業(自主事業)

本事業の積極的な推進を図るため、春日井市より上記（1）の相談支援事業の相談員 1 名を兼任として配置する承認を受け、専任相談員 3 名に加え計 3.5 名体制（常勤換算）で臨みました。また、法人内事業所との連携のもと、「サービス等利用計画」の作成件数は着実に伸び、モニタリングも効果的に実施することができました。

春日井市は、令和 2 年度までに計画作成率を 100%とする方針を掲げており、引き続き、法人内の利用者を中心とし、地域を含めたすべての利用者について、質の高い計画作成ができるよう、さらに体制を強化して計画作成に努めてまいります。

	平成 30 年度	平成 29 年度	前年度比
計画作成	332 件	221 件	150.22%
モニタリング	218 件	64 件	340.62%

2. 愛知県障害者相談支援体制整備事業（地域アドバイザー）

愛知県からの委託を受け、尾張北部障害保健福祉圏域 5 市 2 町に対し、地域自立支援協議会の活性化及び障害者計画等の進捗状況の把握と共に、あらゆる場面で助言・指導を行ってきました。また、相談支援専門員の人材育成にも携わり、愛知県障害者相談支援従事者研修の企画・運営にも参加しています。なお、アドバイザーとしての適任者の退職のため、当法人としては本年度限りとしました。

3. 尾張北部障害者就業・生活支援センターようわ（雇用安定等事業・生活支援等事業）

愛知労働局・愛知県からの委託を受け、事業計画どおり、センター長、主任就業支援ワーカー、就業支援ワーカー3名、生活支援ワーカー1名の6名体制（坂下事務所4名、サテライト柏森事務所2名を配置）で実施をしました。事業主をはじめ関係機関、医療機関からの相談は増大し、より選ばれるセンターに近づいてきております。

今年度については、精神障害者等の職場定着支援推進事業を委託され、アセスメントツールの活用により、さらなる専門性を活かすことができました。引き続き、就労支援の担える人材育成、スキルアップに努めてまいります。その他、各市町の地域自立支援協議会、管轄ハローワークとの連携強化もあり、障害者雇用推進セミナーの開催は大盛況に終わりました。

	平成 30 年度	平成 29 年度	前年度比
登 録 者	777 名	822 名	94.52%
相 談 件 数	6,225 件	4,991 件	124.72%
職場実習件数	66 件	80 件	82.50%
就職者件数	114 名	94 名	121.27%
職場定着率	84.0%	88.8%	94.59%

4. 障害児等療育支援事業

愛知県からの委託を受け、広域事業として専任者1名を配置し実施をしてきました。児童発達支援センターなどが県から市町村の所管となるに伴い、活性化の助言・指導が求められています。また、今年度は昨年度以上に学校教育現場（小学校）からのオーダーが多くなったことが特徴的でした。なお、法人内の機能を存分に利用した外来療育指導事業の展開（就労移行支援の見学など）は充実でき好評でした。

	平成 30 年度	平成 29 年度	前年度比
在宅支援訪問療育等指導事業	23 回	117 回	19.65%
在宅支援外来療育指導事業	50 回	23 回	217.39%
施設一般指導事業	87 回	73 回	119.17%

5. 障害児・者総合相談センターふそう〈相談支援事業〉

今年度10月より扶桑町から受託し実施しました。年度途中の受託で地域アドバイザーが兼任したため、積極的な相談・支援ではなく、関係機関とのネットワーク作りに重点を置き事業展開してきました。来年度からは有資格相談員を専従として1名配置し、本格的な展開となるよう努めてまいります。障害者の重度・高齢化や「親亡き後」を見据え、居住支援のための機能に着目し、障害者の生活を地域全体で支えるサービスの提供体制を構築していくこととします。

	平成 30 年度
相談件数	28 件
相談者数（新規）	10 名

6. 共同生活援助事業（グループホーム）

グループホーム坂下・太陽・さいおの計3事業所9ホーム（定員49名）で事業を運営しました。平成29年度末の退所者による欠員等については、今年度新たに3名の方が利用を開始し、年度当初には満床となりましたが、各事業所において体調不良等で入院される方が多く、各事業所の利用実績としては、微減といった結果となりました。

利用者の方にとって安心・安全な暮らしとなるよう、防犯講習会や衛生講習会に参加するなど、関係機関・専門職等と連携しながら、支援の質の向上に努めました。なお、利用者支援においては、平成29年度に好評だったイルミネーション外出に加え、花火大会・お正月外出等も実施するなど、利用者が楽しめる小行事を充実させることができました。その他、グループホーム王子開所に向けた契約職員等の確保については、ハローワークや職員紹介等を通し、グループホーム全体で16名採用することができました。

		平成30年度	平成29年度	前年度比
坂下	利用者数（定員数）	17名	17名	100.00%
	開所日数	365日	365日	100.00%
	延べ利用者数	5,919名	6,035名	98.07%
	1日平均利用者数	16.21名	16.53名	98.06%
	利用率	95.39%	97.26%	
太陽	利用者数（定員数）	12名	12名	100.00%
	開所日数	365日	365日	100.00%
	延べ利用者数	3,343名	3,491名	95.76%
	1日平均利用者数	9.15名	9.56名	95.71%
	利用率	76.32%	79.70%	
さいお	利用者数（定員数）	20名	20名	100.00%
	開所日数	365日	365日	100.00%
	延べ利用者数	6,446名	6,509名	99.03%
	1日平均利用者数	17.66名	17.83名	99.04%
	利用率	88.30%	89.16%	

7. 地域活動支援センター事業（土日）

グループホーム利用者を中心として定員12名で事業を展開しました。具体的には、地域の社会資源となる施設・店舗を活用すると共に、自治会からの祭りの招待を受ける等、社会参加できる機会を多く持つように取り組みました。また雨天時等においてはドライブや創作活動（カレンダー作り、映画鑑賞会等）を通し、週末を有意義に過ごすことができるよう努めてきました。利用状況については、グループホーム利用者の緊急入院等があり、微減といった状況となっています。

	平成30年度	平成29年度	前年度比
開所日数	103日	103日	100.00%
延べ利用者数	1,167名	1,222名	95.49%
1日平均利用者数	11.33名	11.86名	95.53%
利用率	94.41%	98.86%	

8. 居宅介護事業等・福祉有償運送事業（移動サービス）

居宅介護については、主にグループホーム利用者を対象に通院介助等の支援を実施してきました。行動援護と移動支援事業については、利用者から外出先をヒヤリングし、希望に沿った外出を企画しました。在宅利用者への支援については、保護者の介護保険関係者とケース会議を実施するなど、よりきめ細やかに連携できる方法を模索しました。なお、ヘルパーについては、今年度は2名確保することができましたが、今後も採用に努めていきます。福祉有償運送事業については、運転手2名を養成し、ニーズに応えることのできる体制を整備しました。

		平成 30 年度	平成 29 年度	前年度比
居宅介護	契約者数	26 名	22 名	118.18%
	延べ利用者数	722 名	780 名	92.56%
行動援護	契約者数	5 名	5 名	100.00%
	延べ利用者数	151 名	142 名	106.33%
移動支援	契約者数	46 名	45 名	102.22%
	延べ利用者数	911 名	936 名	97.32%
移動サービス (有償運送)	契約者数	6 名	6 名	100.00%
	延べ利用者数	881 名	910 名	96.81%

事業報告明細書（障害者支援施設 養和荘）

生活介護事業(定員 75 名)、施設入所支援事業(定員 75 名)、短期入所事業(定員 5 名)を提供しました。利用者にとって、日々の暮らしが健康で充実したものとすることを第一義として支援してきました。その目標とした取り組みは概ね遂行できたものと考えます。特に個別支援の場面において、個々の特性に合わせた自立課題を積極的に取り入れるようにし、充実した時間が確保できるように努めました。

事業実績につきましては、以下のとおりです。

1. 利用者の状況

生活介護事業については、法人内の通所事業所を利用している方が 2 名ありますが、長期にわたっての短期入所利用者 2 名に生活介護事業も契約利用してもらうことで定員を満たしました。

短期入所事業の利用状況は従来と変わりありません。緊急・長期の利用者に加え、措置の利用者も受け入れました。

利用者の状況は下表のとおりです。

	定員	開所日数	年度	利用状況		
				延利用者数	利用率	1 日平均利用者数
生活介護	75 名	269 日	30 年度	20,055 名	99.40%	74.55 名
		269 日	29 年度	19,198 名	95.15%	71.36 名
			対前年比	104.46%		
施設入所	75 名	365 日	30 年度	26,879 名	98.18%	73.64 名
		365 日	29 年度	26,214 名	95.75%	71.81 名
			対前年比	102.53%		
短期入所	5 名	365 日	30 年度	2,117 名	116.00%	5.80 名
		365 日	29 年度	2,229 名	122.13%	6.10 名
			対前年比	94.97%		

2. 入退所の状況

入 所		退 所	
人 数	備 考	人 数	備 考
0 名		0 名	

3. 支援体制

個別支援計画に沿って、日常生活支援及び日中活動支援を行いました。本年度は午後の個別支援活動にて、幾つもの自立支援課題を作成し、その活動内容の充実を図るようになってきました。

(1) 日中活動

活動名称・員数	内 訳	活 動 内 容
スヌーズレン (13名)	男性：7名 女性：6名	五感を刺激するスヌーズレン機器の活用にて、利用者個々の精神安定を図る。
療 育 (21名)	男性：17名 女性：4名	近隣の公園や公共施設に出掛け、ウォーキングやアスレチック遊具を用いた取り組みを行い、生活リズムと精神的な安定を図る。
運 動 (18名)	男性：13名 女性：5名	歩行を中心にラジオ体操や個々の身体状況に応じた運動プログラムに取り組み、身体機能の維持・低下防止を図る。
農 耕 (12名)	男性：12名 女性：0名	敷地内に畑を再耕作する。野菜の栽培等を通して生活意欲や体力維持を図る。
園芸・フェルト工芸 (10名)	男性：0名 女性：10名	花壇を用いて花の栽培を行う。フェルト作品は各種作品展に出品。生活意欲の向上につなげる。

*活動としてヒップホップの講師を週1回招いての活動も継続した。(男女合わせ13名)

(2) 主な行事等

実施日	行 事 等	行 先 ・ 開 催 場 所
8月19日	夏祭り	管理棟・養和荘1階フロア(第二養和荘合同行事)
9月17日	きずなコンサート	東部市民センター
11月4日	ふれあいまつり	養和荘グラウンド(第二養和荘合同行事)
12月2日	餅つき	ピロティ(第二養和荘合同行事)
12月25日	クリスマス会	養和荘多目的室等
	招待行事	洞戸観光ヤナ(8/2) ボイメン名古屋夢まつり(1/14)
	小行事	夏の会(8/31)・カレーの会(11/22) 忘年会(12/21)・新年会(1/25)
	外出・外食	アクア・トトぎふ・名古屋港水族館・明治村 東山動植物園・あいち航空ミュージアム 恵那峡・セントレア・市内各種飲食店

*外出・外食は少人数にて実施。いずれも利用者ひとりあたり年2回の実施としています。

4. 給食

利用者の嗜好を考慮しながら、栄養バランスも考えた献立作りとその提供に努めました。また、リクエスト献立やご当地グルメと献立作成に工夫を凝らしました。栄養ケアマネジメントを通し、利用者の咀嚼機能や年齢に合った食事形態・カロリーで提供し、利用者の健康管理にも努めました。

5. 健康管理

健康診断を年 2 回実施すると共に、歯科検診を定期的に行いました。健康診断については名古屋公衆医学研究所に依頼し検診車にて実施しました。今年度は、利用者のインフルエンザ等の感染症への罹患はありませんでした。健診状況等については次のとおりです。

5 月 9 日	利用者健康診断	名古屋公衆医学研究所検診車
10 月 3 日	利用者健康診断	名古屋公衆医学研究所検診車
11 月 13 日	インフルエンザ予防接種	森医師
月 1 回	嘱託医来所、健康相談	沖医師
〃	内科医による診察	森医師
年 2 回	嘱託歯科医による検診	川原歯科医師

6. 環境整備

清潔で快適な生活環境を維持できるよう日々の清掃等に心掛けました。修繕等が必要なものは業者依頼だけでなく、自己修繕可能なものは早期に対応を図り生活に不都合がないように努めました。(約 80 件に自己対応)

7. 防災・防犯

災害が発生した場合に、利用者の生命の安全を最優先に行動できるよう、避難誘導訓練等を実施しました。また、防犯対策については、防犯マニュアルをもとに緊急時の対応や防犯機器の取り扱いについての教育を行いました。

実施日	訓練内容
4 月 3 日	A E D 訓練等 (新規採用者対象)
4 月 10 日	防犯教育 (新規採用者対象)
5 月 17 日	風水害想定避難誘導・通報訓練
6 月 21 日	夜間想定火災避難誘導・通報訓練
7 月 19 日	夜間想定火災避難誘導・通報訓練
8 月 9 日	夜間想定火災避難誘導・通報訓練
9 月 3 日	総合防災訓練 (炊き出し訓練、地震体験車・煙道体験)
	日中地震想定火災避難誘導・通報訓練
9 月 12 日	防犯教育
10 月 18 日	夜間想定火災避難誘導・通報訓練
11 月 29 日	夕方想定火災避難誘導・通報訓練
12 月 21 日	防災教育および防犯教育
1 月 17 日	災害伝言ダイヤル訓練
2 月 21 日	緊急連絡網訓練
3 月 14 日	夜間想定火災避難誘導・通報訓練

8. その他

ヒップホップダンスチームは外部で 4 回と発表機会を広げています。また、本年度「アールブリュット展」にて女性利用者の作品が企業のノベルティグッズに採用され、「第 5 回むがむちゅう展」にて男女各 1 名の作品が会長賞と特別賞を受賞しました。

事業報告附属明細書（障害者支援施設 第二養和荘）

生活介護事業（定員 40 名）、施設入所支援事業（定員 40 名）、短期入所事業（定員 2 名）を実施しました。利用者の高齢化が進む中、安全で快適な生活を送ることができるように配慮すると共に、医療機関との連携を図りました。

事業実績につきましては、以下のとおりです。

1. 利用者の状況

生活介護、施設入所支援の利用状況は前年度並みでした。施設入所支援契約者のうち 2 名は障害福祉サービス事業所「わかば」の就労継続支援 B 型を利用中です。

短期入所の利用で年間を通しての長期での利用が 1 名ありましたので、利用状況は増加となりました。

	定員	開所日数	年度	利用状況		
				延べ利用者数	利用率	1 日平均利用者数
生活介護	40 名	269 日	30 年度	10,272 名	95.46%	38.18 名
		269 日	29 年度	10,343 名	96.12%	38.44 名
			前年度比	99.31%		
施設入所	40 名	365 日	30 年度	14,312 名	98.02%	39.21 名
		365 日	29 年度	14,349 名	98.28%	39.31 名
			前年度比	99.74%		
短期入所	2 名	365 日	30 年度	554 名	75.89%	1.51 名
		365 日	29 年度	179 名	24.52%	0.49 名
			前年度比	309.49%		

2. 入退所の状況

入 所			退 所		
月日	人数	備考	月日	人数	備考
5 月 15 日	1 名	はるひ荘より	4 月 14 日	1 名	死亡
			2 月 13 日	1 名	死亡

3. 支援体制

(1) 日中活動

創作活動で制作した作品は、施設内で掲示をして来訪者の方々に見ていただいたり、あいちアールブリュット展、福祉のつどい、障害者団体等作品展等に出品しました。

活動名称	人 数	活 動 内 容
リハビリ（午前）	28 名	歩行器等を使用しての館内歩行、平行棒や手すりを使った立ち上がりの運動を中心に身体を動かしています。

創作活動（午前）	10名	絵画制作やフェルトにパンチングをして立体的な作品を作って飾っています。
レクリエーション（午後）	13名	遊具を使ってゲームをしたり、カラオケやCDに合わせた楽器演奏等で楽しみます。
ゆったり（午後）	15名	足浴をしたり、スノーズレン用具等を使ってリラックスして過ごしています。
創作活動（午後）	10名	破る、切る、貼る、塗る等の工程の得意なところを受け持ち、全員で一つの作品を作ります。
園芸	3～5名	プランターでの栽培を中心に、キュウリ、ミニトマト、ピーマン等の収穫ができました。

(2) 行事等

行事については下記のとおり実施しました。小班編成でのグループ外出・食事会は、本人の希望を聞き取ってメンバーや行き先等を検討して実施しました。

5月17日	春の行楽	ジョイフルファーム鶉の池、えびせんべいの里
8月19日	夏祭り	養和荘管理棟前（養和荘合同行事）
9月17日	きずなコンサート	東部市民センターホール
10月25日	秋の行楽	デンパーク
11月13日	バーベキュー	第二養和荘ウッドデッキ
11月4日	ふれあいまつり	養和荘グラウンド（養和荘合同行事）
12月2日	餅つき	ピロティ（養和荘合同行事）
12月25日	クリスマス会	第二養和荘ダイルーム（食事、レクリエーション）
1月24日	新年会	第二養和荘ダイルーム（食事、レクリエーション）
3月5日	おつかれさま会	第二養和荘ダイルーム（食事、レクリエーション）
	グループ外出・食事会	ナゴヤドーム（野球観戦）、名古屋港水族館、明治村、愛知こどもの国、東山動植物園、竹島水族館、なばなの里、イオン長久手店他

4. 給食

利用者の状況を栄養士に報告し、食事形態や提供方法を個々の状態に合わせて対応することができました。季節感のある献立内容や利用者の希望メニューを取り入れることで利用者には好評でした。また、食前に嚥下体操を行い誤嚥の予防に努めました。

5. 健康管理

利用者の健康管理として、下記のとおり実施しました。

5月15日、10月16日	利用者健康診断	名古屋公衆医学研究所
11月15日	インフルエンザ予防接種	牧野ファミリークリニック
月1回	嘱託医来所、健康相談	沖医師
月1回	内科医による診察	牧野医師
年2回	嘱託歯科医による検診	川原歯科医師

今年度もインフルエンザの罹患者はいませんでした。手洗いとうがいの励行、手指や器具類のアルコール消毒や必要に応じて手袋、マスクの着用をしました。

転倒による怪我の防止のための保護帽の作製や下肢の浮腫が著しいために医師に相談するケースが増えてきました。歩行状態が悪くなってきていることから、車椅子や歩行器の使用を始めるケースもあり、利用者の高齢化に伴っての身体機能の低下への対応を利用者個々に行いました。

病気による医療機関への入院は下記のとおりでした。

年度	入院者数	入院期間
30年度	6名(7回)	102日(入退院日を含む)
29年度	5名(7回)	97日(入退院日を含む)

6. 入浴

月・水・金曜日を入浴日とし、利用者の介護度により一般浴と機械浴に分けて実施しました。発汗や汚染した際には適宜シャワー浴を行いました。

7. 環境整備

業者による1階浴室の塗床補修工事、ベッドキャスターの取替え修理、全館照明のLED化工事等を行いました。日常的な施設設備の点検や日頃の清掃や整理整頓に心掛けて、利用者が快適に生活することができる環境作りに努めました。

8. 防災・防犯

火災・震災発生を想定した避難誘導訓練等については、下記のとおり実施しました。また、防犯対策については、緊急時の対応や防犯機器の取り扱いについての講習を受けました。

4月 3日	新規採用職員防災教育、消火訓練
4月 19日	夜間の火災想定、通報及び避難誘導訓練
6月 21日	夜間の火災想定、通報及び避難誘導訓練
7月 5日	夜間の火災想定、通報及び避難誘導訓練
7月 19日	夜間の火災想定、通報及び避難誘導訓練
9月 3日	日中の地震・火災想定、通報及び避難誘導訓練、炊出し訓練、地震・煙道体験
9月 20日	夜間の火災想定、通報及び避難誘導訓練
10月 18日	夜間の火災想定、通報及び避難誘導訓練
11月 29日	夜間の火災想定、通報及び避難誘導訓練
12月 11日	夜間の火災想定、通報及び避難誘導訓練
2月 15日	防災教育(災害用伝言ダイヤル)
2月 26日	夜間の火災想定、通報及び避難誘導訓練
3月 28日	日中の風水害想定、通報及び避難誘導訓練

事業報告附属明細書（障害福祉サービス事業所 はさま）

春日井市内在住の知的障害者に対して、通所支援サービスの生活介護事業（定員 25 名、契約者 44 名）、また、春日井市事業で土曜・日曜日の余暇支援として地域活動支援センター事業（定員 29 名＋緊急時 1 名、契約者 78 名）を実施しました。

事業実績につきましては、以下のとおりです。

生活介護

1. 利用実績

平成 31 年 3 月末日現在の利用契約者数 44 名

年度	開所日数	区分 6	区分 5	区分 4	区分 3	区分 2	合計
30 年度	255 日	3,118 名	2,948 名	1,109 名	10 名	0 名	7,185 名
29 年度	256 日	3,671 名	2,468 名	1,114 名	77 名	0 名	7,330 名
前年度比		84.93%	119.44%	99.55%	12.98%	—	98.02%

※ 1 日の平均利用者数 28.17 名（29 年度 28.63 名）

※ 平均障害程度区分 5.27（29 年度 5.33）

2. 利用者状況

契約開始		契約解除	
3 名	1 名（特別支援学校新卒者） 2 名（他事業所から）	0 名	

3. 事業内容

(1) 支援内容

ア 個別支援計画

時期を固定せず、利用者の達成状況を見ながら適宜作成してきました。

イ 日中活動の内容

- (ア) 歩行（コロニー外周・植物園・焼山公園・農村公園・第二養和荘外周）
- (イ) 運動（ラジオ体操、ストレッチ体操等）
- (ウ) 軽作業・創作活動（牛乳パックリサイクルの紙漉き・絵画、貼り絵等）
- (エ) ボランティア講師による活動（茶道、書道、ストレッチ、お手玉）
- (オ) レクリエーション（カラオケ、ゲーム等）
- (カ) 入浴を希望者に対し実施しました。

ウ 食事

献立表を各家庭に渡し、カロリー制限の方については、送迎の際に、カロリーを報告しています。食事については、季節を感じられるメニューや行事食、また、8 月から 3 月には調理実習を取り入れました。

エ ティータイム

利用者の選択した飲み物を提供しました。砂糖はカロリーゼロの甘味料にて対応

をしました。

オ 送迎

契約者のうち、41名の方が利用されています。5台の車両で実施しました。

カ ボランティア

定期的に協力を頂いている方や新規の方も含め、延べ278名の協力を得ることができました。

キ 健康管理

看護師による月1回の体重・血圧測定（高血圧の方は週一回）を実施し各家庭にも報告を行ってきました。服薬や受診等の個別の健康状態については、健康管理シートを活用し送迎時の家庭からの聞き取りにより利用者の現状把握に努めました。健康診断は5月16日、インフルエンザ予防接種は11月15日に希望者に実施しました。今年度は6名のインフルエンザ罹患者がおりましたが、それ以上広がることはありませんでした。また、歯科検診も養和荘歯科検診室にて、年2回行いました。

ク レスパイトサービス

サービス提供時間外の延長サービスとして、最大19時まで事業所内で見守り支援を行っていますが、延べ182名の方が利用されました。

(2) 年間行事

ア 全体行事

行事名	開催日	参加者				
		利用者	保護者	ボラ	招待	職員
春の行楽	6月4日	25名		2名		18名
春のお茶会	6月28日	23名	9名	6名	10名	17名
夏のつどい	8月23日	32名		8名		15名
きずなコンサート	9月17日	27名	1名	7名		15名
秋のお茶会	11月8日	26名	10名	6名	10名	16名
秋の行楽	10月3日	34名		0名		17名
新年のつどい	1月8日	27名	18名	6名		17名

イ 個別行事（小グループ外出・買い物外出・ランチ外出）

7月3日～1月24日の間に、各回、利用者3～7名、職員1～3名のグループを組み、希望される場所へ出掛けました。利用者は延べ72名が参加しました。

4. 学生実習

- (1) 中京大学 8～9月に各5日間、11名が教員免許取得のための福祉体験実習
- (2) ナゴノ歯科医療専門学校 5月に2日に分かれて計18名が実習
- (3) 小牧特別支援学校 6月に3日間高等部3年生が実習
- (4) 社会福祉士相談援助実習 4月に14日間受け入れ（3月からの継続）

地域活動支援センター（春日井市事業：土曜日・日曜日）

1. 利用者状況 契約者数 78名

利用実績

年度	定員	開所日数	利用状況		
			延利用者数	利用率	1日平均利用者数
30年度	29名	103日	2,272名	76.06%	22.05名
29年度	29名	103日	2,179名	72.94%	21.15名
前年度比			104.26%		

2. 事業内容

(1) 支援内容

ストレッチ体操・歩行・カラオケの活動を中心とした余暇活動を実施してきました。

(2) その他

ア 食事・ティータイムは生活介護事業と同様の支援を実施しました。

イ 送迎は契約者のうち、77名の方が利用されています。3台の車両で実施しました。

全体

1. 防災・防犯計画

火災・地震の発生を想定して、利用者の安全確保を第一とした避難誘導訓練を生活介護事業では4回、地域活動支援センター事業では4回実施しました。また、風水害にかかる避難訓練を生活介護事業で2回実施しました。非常食料は3食分を備蓄しています。防犯については各フロアに防犯ブザー・カラスプレーを用意し職員も全員非常時に鳴らす笛を携帯しております。

2. 職員研修

(1) 内部

毎月のスタッフ会議の中で、虐待のセルフチェックを行い、自身の支援の振り返りを行いました。その他には、日々の支援に直結した事故を未然に防ぐための研修等を行いました。

(2) 外部

福祉協会の主催する研修を中心に9名の職員が19講習・研修等に参加しました。

事業報告附属明細書（障害福祉サービス事業所 なかぎりワークス）

就労継続支援B型事業の定員48名、契約利用者52名で事業実施しました。
事業実績につきましては、以下のとおりです。

1. 利用者の状況

定員	開所日数	年度	利用状況		
			延利用者数	利用率	1日の平均利用者数
48名	273日	30年度	12,041名	91.88%	44.1名
48名	269日	29年度	11,872名	91.94%	44.1名
		前年度比	101.42%		

*開所日数は、販売日による一部開所も含む日数

利用開始・終了

利用開始	利用終了	
なし	2名	在宅を希望

2. 生産活動

(1) 農作物事業

ハウスを利用した野菜類の自然栽培に取り組みましたが、基本的な、土壌の調整・温度湿度の管理を含めた栽培技術・経験の不足から、見込んだ収穫は得られませんでした。組合勉強会への参加や、指導者による助言を受け、栽培技術の習得に努めました。

	生産組合 納品額	調整受注	水菜一般 販売	野菜販売	業務受注	合計
平成30年度	—	1,091,985円	119,010円	305,393円	113,556円	1,629,944円
平成29年度	557,007円	980,925円	305,817円	388,207円	—	2,231,956円
前年度比	—	111.32%	38.91%	78.66%	—	73.02%

(2) パン事業

納品・店頭販売及び巡回販売と、元気ショップでの売り上げが増加しました。イベントは、天候による中止の影響で減少しました。利用者の製造技術向上のための指導を日々行いました。

	納品・店内販売	元気ショップ	イベント	合計
平成30年度	5,944,843円	6,010,420円	637,870円	12,593,133円
平成29年度	5,485,014円	5,321,640円	822,450円	11,629,104円
前年度比	108.38%	112.94%	77.55%	108.28%

(3) 製品受注事業

受注作業の取引会社は7社でした。取扱量が少なくなった作業種もあり、収入としては減少しました。利用者特性を考慮し、理解しやすいように作業工程の工夫も行い、良品が生産できるように支援しました。

	エルスタット	ヤガミ	京都キディ	梱包屋他	合計
平成30年度	454,200円	106,056円	99,541円	278,203円	938,000円
平成29年度	502,250円	131,760円	241,493円	127,434円	1,002,937円
前年度比	90.43%	80.49%	41.21%	218.31%	93.52%

(4) 施設外就労

春日井市からの優先調達により、エアフロントオアシスのトイレ掃除を週2回実施しました。利用者数名と引率職員で清掃作業を行いました。

エアフロントオアシス トイレ清掃委託料	390,000円
---------------------	----------

(5) 利用者工賃

総収入額は前年度を上回りましたが、設備・備品の修理等の支出があったため、利用者の平均工賃月額、前年度より若干低くなりました。

	作業総収入額	工賃総支払額	支払延人数	平均月額工賃額
平成30年度	15,551,077円	7,298,000円	611名	11,944円/月
平成29年度	14,863,997円	7,467,252円	608名	12,281円/月
前年度比	104.62%	97.73%	100.49%	97.25%

3. その他

(1) 個別支援計画

計画に沿った支援を行うと共に、6ヶ月毎にモニタリングし、利用者・保護者の意見・要望を聴き取りつつ、次期計画につなげるようにしました。

(2) 健康管理

利用者の健康管理を、下記のとおり行いました。

5月23日	利用者健康診断（名古屋公衆医学研究所来所）
11月27日	歯科検診・歯磨き指導（ナゴノ福祉歯科医療専門学校）
11月13日	インフルエンザ予防接種（勝川医院来所）

冬季にインフルエンザにより、利用者9名が欠席しました。

(3) 給食

業者委託による給食提供を行いました。委託先の栄養士が定期的に来所し、利用者からの意見・要望を聴き取り、献立に反映しました。

(4) 通所支援

マイクロバスと 8 人乗り送迎車両にて、春日井駅・八光公園、勝川駅の送迎、また、高蔵寺方面の利用者の送迎も実施しました。34 名の利用者が送迎サービスを利用しました。

(5) 行事

行事は下記のとおり実施しました。

9 月 10 日	お楽しみ旅行（デンパーク）
9 月 17 日	わくわくホリデー（絆コンサート・東部市民センター）
11 月 23 日	げんきまつり（なかぎりワークス内）
12 月 24 日	クリスマス会（なかぎりワークス内）
1 月 14 日	新年会（なかぎりワークス内）

(6) 本人会支援

利用者のエンパワメントを高める機会として、毎月本人会（せいかつ集会）を開催し、意見発表の場を設けるとともに、委員会活動などが主体的に進められるよう、見守り・助言を行いました。

(7) 地域交流・地域貢献

春日井まつりどっこいせパレードに利用者 22 名、職員 4 名が参加し、鳥居松 1 丁目から市役所まで、踊りを披露しました。

地域貢献活動としては、庄内川河川敷清掃及び本人会活動による地域美化（ゴミ拾い）活動を実施しました。

(8) 防災・防犯

防災及び防犯の訓練は下記のとおり実施しました。

4 月 13 日	防災オリエンテーション
8 月 27、28 日	火災報知器・非常通報装置取扱い説明
9 月 3 日	法人総合防災訓練（地震・火災想定避難訓練）
10 月 12 日	防犯研修（ビデオによる教育）
1 月 28 日	水害避難訓練
3 月 18 日	火災想定通報・避難訓練

(9) 苦情解決

苦情の受付は 2 件ありましたが、いずれも一般の方からの申出によるものでした。福祉事業所及び、福祉職員が、社会の中でも注目されていることを認識し、対応策を講じ、再発防止に努めました。

事業報告附属明細書（障害福祉サービス事業所 わかば）

事業所の利用定員は、40名と変わりなく、生活介護事業（定員10名）と就労継続支援B型事業（定員30名）を実施しました。両事業とも適切な環境のもとに支援を行いました。事業実績につきましては、以下のとおりです。

1. 生活介護事業

(1) 利用者状況

ア 契約利用者数 10名

年度	定員	開所日数	延べ利用者数	利用率	1日平均利用者数
30年度	10名	255日	2,380名	93.33%	9.33名
29年度	10名	256日	2,291名	89.49%	8.94名
前年度比			103.88%		

イ 利用開始・利用終了

利用開始		利用終了	
人数	備考	人数	備考
1名	わかば就労Bから異動 (GH坂下入居者)	1名	第二養和荘へ (GH坂下入居者)

(2) 支援状況

ア 週間スケジュール

下記の週間スケジュールを基本として活動しました。運動内容については、昨年度と同様に利用者の年齢差を考慮した内容としました。

	月	火	水	木	金
午前	歩行	歩行（車両）	歩行	歩行	創作活動
午後	創作活動	レクリエーション	創作活動	レクリエーション	ドライブ

イ 支援内容

活動項目	内容
創作活動	12月は、春日井市役所での「障がい者団体等作品展」出展に向け貼り絵、絵画、手織り、俳句等の制作、1月は「むがむちゅう展」に向け絵画、ちぎり絵、俳句等の制作を行い、出展しました。どちらの作品展も会場まで足を運び、作品が展示された喜びを共有できました。
歩行・運動	近隣の公園への散歩は、体力面等を考慮し複数に分けて出掛けました。行先に応じて、お散歩されている方と挨拶を交わしたり、動物の様子を観察したりして、楽しみながら出掛けました。
レクリエーション	カラオケ、ダーツ、輪投げ、ボーリング、DVD観賞等を行い、余暇時間の充実を図りました。
ドライブ	近郊の公園（四季の森、落合公園等）に公用車で出掛け、車窓の風景や現地での散策、展示物の見学等により、気分転換を図ることができるようになりました。
その他	お菓子作りでは、10月に芋きんとん、3月にひなまつりのケーキを作り、皆で楽しみました。

2. 就労継続支援 B 型事業

(1) 利用者状況

ア 契約利用者数 31 名

年度	定員	開所日数	延べ利用者数	利用率	1 日平均利用者数
30 年度	30 名	257 日	7,318 名	94.91%	28.47 名
29 年度	30 名	256 日	7,141 名	92.98%	27.89 名
対前年比			102.47%		

イ 利用開始・利用終了

利用開始		利用終了	
人数	備考	人数	備考
なし	—	1 名	わかば生活介護へ (GH 坂下入居者)
		1 名	死亡 (在宅利用者)

(2) 支援状況

ア クリーニング作業

入所施設からの洗濯物受注を基幹作業とし、中日本リネンからも布団類等の洗濯を受注しました。また、昨年度に引き続き独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構愛知支部 中部職業能力開発促進センター（通称 ポリテクセンター中部）より、宿泊者の寝具類のクリーニングも受注も行っていきます。その他、不定期ではありますがじゅうたんやジャンパー等クリーニングの依頼も受け、実施することが出来ました。

イ 水耕野菜出荷調整作業

サンスイから水耕野菜を受領し、出荷に向けた調整・梱包作業を実施しました。今年度の受領数は年々落ち込んでいたことに加え、台風等天候の影響も大きく、例年に比べ大幅に落ち込みました。日々の作業を安定して受注することが出来なくなった為、10 月を最後に取り終了としました。これに伴い、水菜の再生品販売についても 10 月までで終了となっています。

ウ 内職作業

レンタル DVD ケース磨き等の作業、気泡緩衝材カタログ作成作業、毛染め説明書袋詰作業、キューマスク（人工呼吸時に使用するマスク）ケース詰め作業を中心に実施しました。昨年度に引き続き、養楽荘の洗濯物の仕上がり品のたたみ・仕分け作業と並行して、内職作業を行いました。

また、10 月に水耕作業を取り止めたことから、新たにイズミテックより、気泡緩衝材の切断・仕分け。梱包作業の受注を開始しました。大幅な班の再編成も行い、作業環境の充実を図りました。

(3) 利用者工賃の状況

前年度に比べ、年度当初から入所 4 事業所の洗濯物を受けることができ、収入が若干増えています。ただし、水道光熱費等の見直しを行い実状に沿った形とした為、経費も大幅に増えています。その結果、月額平均工賃は若干増えた形となりました。

年度	総収入額	経費総額	工賃総支払額	工賃支払 延利用者数	月額平均工賃
30 年度	9,645,521 円	4,398,321 円	5,247,200 円	369 名	14,220 円
29 年度	9,434,521 円	4,409,220 円	5,025,301 円	357 名	14,076 円
対前年比	102.23%	99.75%	104.41%	103.36%	101.02%

3. 共通事項

(1) 個別支援計画

計画担当者3名で計画内容を見直し、適切なサービスを提供しました。また、保護者・利用者のニーズを聴き取り、作業班の再編成も一部実施しました。

(2) 健康管理

緊急対応確認シートを見直すと共に、利用者健康診断・インフルエンザ予防接種を実施しました。また、看護師による体重測定等を通し、健康への意識付けを図りました。

今年度は、1月にインフルエンザA型に8名が罹患しましたが、一週間程で終息し大きな混乱には至りませんでした。

(3) 給食

キッチン高森に委託し、日々の食事提供を行っています。利用者の誕生日に提供する「希望メニュー・誕生日デザート」の提供を実施すると共に、利用者の意見を伝え、美味しい食事の提供に努めました。

(4) 行事

保護者会の協力(★印)の下、以下の行事を実施しました。

4月6日	お花見	野点(事業所内)
5月25日	★バーベキュー・流し素麺	昼食を兼ねて実施(事業所内)
7月20日	★お楽しみ夕食	ルートイングランティア小牧
9月17日	きずなコンサート	東部市民センターにて後援会主催のコンサート
10月3日	★社会見学(生活介班)	あいち航空ミュージアム
10月5日	★社会見学(就労B1班)	あいち航空ミュージアム
10月12日	★社会見学(就労B2班)	あいち航空ミュージアム
10月18日	★社会見学(就労B3班)	あいち航空ミュージアム
12月24日	★クリスマス会	昼食会・演芸会(事業所内)
1月11日	★餅つき大会	昼食を兼ねて実施(事業所内)
2月1日	節分会	豆まき等(事業所内)
3月1日	桃の節句	デザート会食(事業所内)
3月22日	★慰労会	一年の振り返りを兼ねた昼食会(事業所内)

(5) 環境整備

9月4日、専門業者による殺虫対策を実施しました。

(6) 防災・防犯

毎月避難訓練を実施し、平均6分47秒(昨年度平均5分30秒)と、昨年度より1分程多くかかりました(利用者の身体状況が影響)。また、昨年同様職員に対する防災関連のミニテストも実施しました。その他、総合防災訓練時にはわかば単独での炊き出し訓練や非常食の運び出し訓練等も実施しました。利用者の通勤路の安全確認等も行い、非常災害への備え・確認としました。

防犯については、法人での防犯訓練に参加し、さすまたの使用方法を学びました。次年度には購入し、緊急時に使用できる体制としていきます。

事業報告附属明細書（障害福祉サービス事業所 さいおワークス）

西尾町と坂下町の2事業所において、事業を実施いたしました。

西尾では、就労継続支援B型事業（定員20名）、土・日曜日の地域活動支援センター事業（定員13名）を実施しました。

坂下では、就労移行支援事業（定員8名）、障害者委託訓練支援事業を実施しました。事業実績につきましては、以下のとおりです。

1. 利用者の状況

(1) 就労移行支援事業及び就労継続支援B型事業

利用状況は以下のとおりです。

	定員	開所日数	年度	利用状況		
				延利用者数	利用率	1日平均利用者数
就労移行	8名	255日	30年度	1,553名	76.12%	6.09名
	8名	256日	29年度	1,211名	59.13%	4.73名
			前年度比	128.24%		
就労継続B型	20名	255日	30年度	4,994名	97.92%	19.58名
	20名	256日	29年度	5,028名	98.20%	19.64名
			前年度比	99.32%		

入退所状況は以下のとおりです。

	利用開始		利用終了	
	人数	備考	人数	備考
就労移行	5名	在宅より	2名	一般就労へ
	1名	委託訓練より	1名	就労継続A型へ
	2名	特別支援学校より	1名	就職活動を継続
就労継続B型	0名	—	0名	—

就労移行は新規利用者が8名、利用終了者は4名、1日平均利用者数が増加しました。就労継続B型は1年間通して利用者数に変動はありませんが、入院等にて利用者の欠勤があり1日平均利用者数が微減しました。

(2) 地域活動支援センター事業

利用状況は以下のとおりです。

定員	開所日数	年度	利用状況		
			延利用者数	利用率	1日平均利用者数
13名	103日	30年度	937名	69.97%	9.09名
13名	102日	29年度	944名	71.19%	9.25名
		前年度比	99.25%		

(3) 障害者委託訓練事業

利用状況は以下のとおりです。

定員 (各コース)	開所日数	年度	利用状況		
			延利用者数	利用率	1コース平均利用者数
6名	193日	30年度	8名	33.33%	2.00名
6名	173日	29年度	16名	88.88%	5.33名
		前年度比	50.00%		

定員6名の4コースを実施しました。応募者が少なく多治見のハローワークにも依頼

しましたが応募はありませんでした。
委託訓練後の進路状況は以下のとおりです。

一般就労	就労移行（さいお）	就労移行（他事業所）	在宅
2名	3名	2名	1名

2. 作業収入・工賃の状況は以下のとおりです。

【就労継続 B 型】

年度	総収入額	総経費額	工賃総支給額	延利用者数	平均工賃月額
30年度	3,083,152円	105,547円	2,977,605円	252名	11,815円
29年度	2,268,854円	233,263円	2,035,591円	254名	8,014円
前年度比	135.89%	45.24%	146.27%	99.21%	147.42%

新規受注作業、春日井市からの内津公衆便所清掃業務委託等にて総収入額が増加し、平均工賃月額が増加しました。

【就労移行支援】

年度	総収入額	総経費額	工賃総支給額	延利用者数	平均工賃月額
30年度	169,970円	0円	169,970円	67名	2,536円

3. 支援体制

利用者個々のニーズを基にした個別支援計画に沿って、就労移行支援では一般就労及び就労定着を目指して、事業所内での訓練や職場体験・実習、職場定着支援を行い、就労継続支援B型事業では施設内での受注作業や施設外就労を通し、働く喜びや達成感が得られるよう支援しました。委託訓練は一般就労、地域活動支援センターは余暇支援、それぞれの目的に沿ってサービスを提供しました。

具体的な内容については以下のとおりです。

(1) 日中活動、訓練

就労移行支援	事業所内訓練	事務系作業（パソコン作業、作業日報、物品請求書、数値チェック、ラベル作成）、製造及びサービスに関する作業（バックヤード作業）、協働作業（物流作業、封入作業）、JST（職場対人技能トレーニング）、コミュニケーション力向上訓練等に取り組みました。 ハローワークや企業説明会での求職活動に付き添い、履歴書、職務経歴書の作成や模擬面接を行いました。 また、6月より受注作業を実施し工賃を支払いました。
	職場体験、実習	一般就労やA型事業所の利用に向けて、事前の見学や打合せを重ねてから体験や実習に臨みました。
	職場定着	一般就労した方については、就職後6か月間、就労先へ訪問して本人や企業の担当者から聞き取りを行い調整・助言をしました。また、家族からの相談にも対応しました。
就労継続B型	受託作業	協力会社6社より作業を受注し、毛染め用品のセット、梱包、ビニールロープの樹脂リングの取付け、キューマスクの袋詰め、気泡緩衝材梱包作業等を中心に取り組みました。
	みたらし製造販売	養和荘保護者会、養和荘夏まつり、養和荘ふれあいまつり、福祉のつどい、ハーモニーフェスティバルにて行いました。
	施設外就労	ゲオ店舗清掃業務（7回/月、2月から8回/月、利用者3名支援員1名のチーム）実施。春日井市委託：内津公衆便所清掃（2回/週、利用者2名支援員1名のチーム）で実施しました。

委託訓練	個別作業 協働作業	数値や文章の入力や修正のパソコン作業や事務作業、ピッキングやドライバーを使用しての組立、器具を使つての値付け等の項目や注文書の作成等を行いました。
	タイム トライアル	作業量を一定に保つことを目指して、定期的に行いました。
	就労に 向けて	履歴書や職務経歴書の書き方や模擬面接、職場内の対人関係についての学習を行い、就労に結びついています。
地域 活 動	工作、運動 余暇	新聞等の身近にあるものを使った工作、カレンダー作り、音楽に合わせてのストレッチを実施しました。また、ドライブ、DVD鑑賞、散歩、初詣等の余暇支援を行いました。
	調理実習	買物に出かけ食材を購入して、昼食やおやつ作りを行いました。
	公共施設 利用	坂下公民館の図書室へ出掛けて読書をしました。

(2) 主な行事等

5/3, 9/24	バーベキュー	さいおワークス
7/16, 11/23	お茶会	さいおワークス
9月17日	市民きずなコンサート	東部市民センター
10月25日	行楽	名古屋市科学館
12月24日	クリスマス会	さいおワークス
1月14日	新年会（もちつき）	さいおワークス
3月5日	社会見学	刈谷ハイウエーオアシス コカ・コーラセントラルジャパン東海

(3) 健康管理

5月8日	健康診断	11月27日	インフルエンザ予防接種
------	------	--------	-------------

毎月1回の血圧測定・体重測定の実施、手洗い、うがいを励行し必要に応じてマスクを着用し感染症の予防に努めました。インフルエンザは、B型に利用者1名が罹患しました。

(4) 給食

就労継続支援B型では、安心できる食材を使用した栄養バランスの良い「キッチン高森」のクックチル方式の食事を提供しました。

(5) 送迎

家庭と事業所、拠点間の送迎をしました。6/21、送迎後車両内に利用者を降し忘れる事案がありましたが利用者にて体調不良等はありませんでした。

5. 防災防犯

火災、地震の災害が発生した場合に備え、利用者の安全確保を第一に考えて行動ができるように、避難誘導訓練等を次のとおり実施しました。また、防犯マニュアルを策定し不審者の侵入に対する対応を職員に周知徹底しました。

月 日	訓 練 内 容
9月 3日	日中想定地震火災避難誘導訓練
12月12日	風水害想定避難訓練
3月16日・17日	地域活動支援センター：火災避難誘導訓練

事業報告附属報告書（障害福祉サービス事業所 みずほ）

平成 28 年に開所し、3 年目となりました。定員 20 名の生活介護事業所として事業を継続しております。

事業実績につきましては、以下のとおりです。

1. 利用者状況

(1) 利用実績

定員	開所日数	年度	利用状況		
			延利用者数	利用率	1 日の平均利用者数
20 名	255 日	平成 30 年度	4,214 名	82.62%	16.52 名
20 名	256 日	平成 29 年度	3,845 名	75.09%	15.01 名
		前年度比	109.60%		

新規利用者が増えて、前年度を上回る結果となりました。

(2) 利用開始・終了

利用開始		利用終了	
人数	備考	人数	備考
4 名	他事業所から (2 名) 在宅から (2 名)	1 名	他事業所を利用 (1 名)

2. 事業内容

(1) 支援内容

ア 個別支援計画

利用者・家族の意見・要望を聞き取りながら、支援内容の見直しを行いました。

イ 日中活動の内容

様々な活動を通して他者と交流し、心と体の健康を維持できるよう支援しました。

(ア) 生産活動（毛染め用の手袋・櫛などをセットする軽作業）

	29 年度	30 年度	前年度比
作業収入	261,000 円	245,958 円	94.23%
工賃支給者（延べ）	222 人	233 人	104.95%
平均工賃（月）	1,175 円	1,055 円	89.78%

(イ) 運動（歩行、ラジオ体操、ストレッチ体操、キャッチボール等）

(ウ) 創作活動（絵画、工作、園芸等）

(エ) レクリエーション（音楽鑑賞、カラオケ、ゲーム、ドライブ、おやつ作り等）

(オ) 社会参加（買い物、近隣公園の清掃、公共施設の利用等）

午前は主に生産活動に取り組み、午後は運動・レクなどの活動でリフレッシュできる内容になっています。工賃額はやや減少していますが、楽しみや気持ちの安定・充実に繋がるような活動が増えています。

ウ 健康管理

日常的に保護者等と情報共有しました。健康診断等は、下記のように行いました。

毎月第1水曜日	体重・血圧測定	みずほ看護師
5月10日	利用者健康診断	名古屋公衆医学研究所
11月14日	インフルエンザ予防接種	勝川医院の往診
5月(前期) 11月(後期)	歯科検診	養和荘歯科検診室

1月にインフルエンザが流行しました。利用者12名(A型:11名、B型:1名)、職員3名(A型)が罹患しました。

(2) 年間行事

誕生会や季節を感じられる行事を行いました。外出等は下記のように行いました。

7月13日	行楽	リトルワールドで、園内散策と昼食を楽しむ。
9月17日	きずなコンサート	東部市民センターにて後援会主催のコンサートに参加する。
10月18日	グループ外出	利用者の希望でモンキーパークとセントレアの2グループに分かれて出かける。
1月23日	みずほの集い	インフルエンザが流行した為、みずほにて利用者・職員のみでお弁当とレクを楽しむ。

3. その他のサービス内容

(1) 給食

宅配の食材により、事業所内で調理して食事提供をしました。

(2) 送迎

3ルートを送迎を実施しました。短期入所利用時は、宿泊先への送迎も行いました。

(3) 防災

下記のように訓練を行いました。

6月13日	避難訓練(火災想定)	緊急避難場所(天王公園)まで避難
9月3日	避難訓練(地震想定)	緊急避難場所(天王公園)まで避難
2月15日	災害用伝言ダイヤル 体験利用	災害時の保護者との連絡方法の訓練・確認

9月4日は、台風の影響により休業となりました。停電がありましたが、当日中には復旧し不具合などはありませんでした。

(4) 防犯

特に問題となるようなことはありませんでした。

(5) 福祉サービス第三者評価

サービス向上・コンプライアンス強化のために受審しました。概ね良い評価をいただくことができました。

事業報告附属明細書（障害者支援施設 養楽荘）

施設入所支援事業（定員 40 名）、生活介護事業（定員 40 名）及び短期入所事業（定員女性 5 名）のサービス提供をしました。平均年齢も高いことから、落ち着いた生活・充実した生活を送っていただけるように、また体力維持も含めた活動内容の見直しを行いました。

事業実績につきましては、以下のとおりです。

1. 利用者状況

保護者が高齢の方もおり、定期帰省の期間でも半数以上の方は養楽荘で生活されています。また、帰省されても、帰省日数の減少も見られます。短期入所については、週末の利用が中心になってきています。

	定員	年度	開所日数	延利用者	利用率	1日平均利用者数
生活介護	40名	30年度	269日	10,753名	99.93%	39.97名
		29年度	269日	10,715名	99.58%	39.83名
施設入所	40名	30年度	365日	14,256名	97.64%	39.05名
		29年度	365日	14,221名	97.40%	38.96名
短期入所	5名	30年度	365日	592名	32.43%	1.62名
		29年度	365日	870名	47.67%	2.38名

2. 利用者の入退所状況

30年度の利用者の入退所はありませんでした。

3. 利用者支援

(1) 日中活動

午前・午後の活動共に男女合同で実施し、利用者の状態に合わせて活動に参加してもらいました。午前中は、音楽療法、山歩行、理学療法とスノーブレンの4つの班に分かれて活動を行い、山歩行以外の班については、各活動の前30分を荘内歩行の時間を設けています。

午後は以下のとおりになります。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
音楽活動	フリー	DVD鑑賞	芸術・工作	園芸
自立支援課題		自立支援課題	自立支援課愛	自立支援課題

*火曜日のフリーの日に、誕生会などの行事を実施

(2) 行事

5月10日	春の行楽	のんほいパーク（豊橋）
7月6日	七夕会	養楽荘（訓練作業室）
8月24日	夏祭り	養楽荘（訓練作業室）
9月17日	きずなコンサート	東部市民センター

10月19日	秋の行楽	航空宇宙博物館（各務原）
10月30日	秋まつり	養楽荘（訓練作業室）
11月29日	焼き芋パーティー	養楽荘（訓練作業室）
12月21日	クリスマス会	養楽荘（訓練作業室）
12月22日	ゆず湯	養楽荘 男女各風呂
12月26日	餅つき	養楽荘（訓練作業室）
12月31日	忘年会	養楽荘各棟
2月1日	節分	養楽荘（訓練作業室）
2月5日	お楽しみ会	養楽荘（訓練作業室）
3月29日	バーベキュー	養楽荘（訓練作業室）

* 上記以外に、小グループでの外出・外食・招待行事にも出かけています。

4. 健康管理

入院となる利用者が4名あり、内1名が手術を行っています。インフルエンザは23名（男性19名、女性4名）感染し、棟閉鎖の対応を2週間実施しました。また、肺炎・骨折もありました。

定期健診・予防接種

5月14日	健康診断	名古屋公衆医学研究所
11月9日	インフルエンザ予防接種	田島クリニック
11月2日	健康診断	名古屋公衆医学研究所

* 歯科検診は、7月～8月・2月の2回、養和荘歯科検診室にて実施

往診等

毎月1回	健康相談等	沖医師
4～5週に1回	内科医による診察	田島クリニック
3～5週に1回	精神科医による診察	あさひが丘ホスピタル

5. 給食

管理栄養士にて献立をたて、委託先のキッチン高森の食事を提供しました。

栄養面・嗜好・季節等を考慮した食事の提供に努めると共に、個々人の状況に合わせてカロリーの変更、食事形態の見直しを行ってきました。

6. 入浴

週に4日実施しています。一般浴と機械浴に分かれて入浴しています。男性3名・女性2名は機械浴固定ですが、他の利用者もその日の状態で機械浴を利用してもらいます。

7. 環境整備

利用者による器物破損の頻度は減ってきています。また破損の程度も縮小していますが、使用頻度の高い物については、経年劣化により修繕が必要な場合が出てきています。利用者の不便にならないように、定期的に確認を行い快適な生活環境を提供してきました。また、日々の清掃・整理整頓なども実施しています。

8. 学生実習

中学生 22 名（高森台・石尾台）・高蔵寺高校 2 名・愛知県立大学 1 名・相山女学園 1 名・警察学校生 92 名の計 118 名の方の受け入れを行いました。職場体験や福祉実習・インターンシップと目的や時間も違いますが、利用者に関わっていく中で何か感じてもらえたようです。

9. 防災・防犯

防災訓練は以下の表の通り実施してきました。その中で、車いすでの避難では段差があり不便な所にはスロープを設置するなど、避難経路の見直しや改善にも取り組んできました。

防犯については、春日井警察に防犯講習会を依頼し、法人内の施設にも声をかけ実施。その後、さすまたを購入し事務所・男女支援員室の 3 か所各 2 本の設置をしました。また、来客には来荘者証を首からかけていただき、不審者にも注意を払っています。

防災訓練一覧

4 月 23 日	日中火災想定による避難訓練・消火訓練・通報訓練
5 月 21 日	夜間火災想定による避難訓練・消火訓練・通報訓練
6 月 19 日	夜間火災想定による避難訓練・消火訓練・通報訓練
7 月 27 日	夜間火災想定による避難訓練・消火訓練・通報訓練
9 月 3 日	日中の地震から火災想定による避難訓練・消火訓練・通報訓練 地震体験車、煙道体験・炊き出し訓練の実施・
10 月 23 日	夜間火災想定による避難訓練・消火訓練・通報訓練
11 月 20 日	夜間火災想定による避難訓練・消火訓練・通報訓練

その他

12 月 18 日	防災教育・防災テスト
1 月 15 日	災害伝言ダイヤル訓練

防犯

9 月 12 日	防犯講習会 春日井警察生活安全課
----------	------------------

事業報告明細書（障害福祉サービス事業所 キッチン高森）

キッチン高森では就労継続支援 A 型事業所（定員 15 名）として厨房業務を行っており、平成 30 年度は隣接する障害者支援施設養楽荘・はるひ荘利用者及び障害福祉サービス事業所わかば利用者等への給食提供並びにさいおワークス利用者への食材提供を行いました。

また、平成 30 年 8 月に保健所から食品営業許可(飲食店営業及びそうざい製造業)を受け、給食及び惣菜販売を始めました。

利用者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、雇用の機会を提供すると共に、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等を実施しました。

事業実績につきましては、以下のとおりです。

1. 利用者状況

年 度	定 員	開所日数	利用状況		
			延べ利用者数	利用率	1 日平均利用者数
30 年度	15 名	365 日	3,540 名	64.65%	9.69 名
29 年度	15 名	365 日	3,478 名	63.52%	9.52 名
前年度比			101.78%		

・利用者の動向

利用開始		利用終了
人 数	備 考	人 数
1 名	春日台特別支援学校より	3 名
1 名	一般就労より	

2. 作業内容、営業時間及びサービス提供時間の状況

作 業 内 容	利用者の適性に応じた作業内容とし、主調理を始め、盛付、配膳、下処理、洗浄作業等の業務を行います。
営 業 時 間	午前 6 時から午後 8 時間まで
サービス提供時間	午前 6 時から午後 8 時まで(このうち最大 8 時間)

- (1) 朝食、昼食、夕食の 3 食を提供しているため、利用者の勤務時間はローテーションを組み実施しました。
- (2) エビ及びさばアレルギー食利用者には、代替食を提供すると共に、誤食がないよう確認作業を実施しました。

3. 給食等の提供状況

(1) 給食の提供

提 供 先	提供者区分	年間提供食数
養楽荘（朝食・昼食・夕食）	施設入所者	41,222 食
	短期入所者	1,259 食
はるひ荘（朝食・昼食・夕食）	施設入所者	41,971 食
	短期入所者	4,745 食
さいおワークス(昼食)	通所利用者	5,493 食

わかば(昼食)	通所利用者	9,241 食
合 計		103,931 食
養楽荘・はるひ荘・キッチン高森等職員(スタッフ含む)		7,188 食

(2) おやつを提供

提 供 先	提供者区分	年間提供食数
養楽荘	施設入所者	1,861 食
はるひ荘	施設入所者	2,151 食

4. 利用者への支援

(1) 個別支援

利用者のニーズ等を基に策定した個別支援計画に沿い、利用者個々の状況に合った支援を実施しました。

(2) 健康管理

利用者の日々の健康状況等の確認を行い、変調がある場合には保護者と連携を行い対処しました。また、年1回の定期健康診断を実施し、利用者の健康管理に努めました。

(3) 衛生管理

衛生管理の徹底を図るため、利用者及び作業所内の衛生管理事業を次のとおり実施しました。

実施項目		実施状況
利 用 者	検便	毎月
	衛生講習会(外部)	6月28日、12月20日、
	服装・身だしなみ・つめ・頭髪等の 衛生点検	毎日
	手洗い講習	毎月
作 業 所	衛生検査(外部)	5月28日、11月27日
	衛生検査(内部)	毎月
	厨房害虫駆除(外部)	毎月
	グリストラップ清掃(外部)	6月12日、9月4日、11月13日、 1月8日、3月5日
	グリストラップかご清掃(内部)	毎月

※ グリストラップ(油脂分離阻集器)ー水中の生ごみ・油脂などを直接下水道に流さないために、一時的にためておく設備で、そのまま放置しておくと、悪臭や害虫の発生、食中毒の温床となる。

(4) 通所支援

勤務時間等を考慮し、公共交通機関による通所が困難な利用者に対して、拠点(JR高蔵寺)と事業所間の送迎を実施しました。 延べ利用者数：1,439人

5. 行事

利用者の教養娯楽事業を次のとおり実施しました。

行事名	回数・実施日
誕生日会	11回(4月、5月、6月、8月、9月、10月、12月、1月、2月)
ハロウィン	10月26日

クリスマス会	12月24日
ひな祭り	3月3日

6. 防災・防犯

火災、地震の災害や犯罪等が発生した場合に備え、利用者の安全確保を第一に考えて行動等ができるように、ホイッスル、ヘルメット等を活用した避難誘導訓練等を次のとおり実施しました。

事業名	回数・実施日
防災・防犯訓練(消火、通報、避難誘導)	年8回(6月19日、7月23日、9月3日、9月12日、10月23日、11月27日、1月22日、3月15日)
119番通報講座	1月21日
非常食備蓄	非常食・飲料水を3日分

7. 施設実習

春日台特別支援学校高等部生徒を対象に、次のとおり施設実習をしました。

実施時期	学年	人数
平成30年6月11日(月)～6月22日(金)	3年生	1名
平成30年10月15日(月)～10月26日(金)	3年生	1名
平成31年1月21日(月)～1月25日(金)	2年生	1名

事業報告附属明細書（障害者支援施設 はるひ荘）

施設入所支援事業（定員 40 名）、生活介護事業（定員 40 名）短期入所事業（定員 5 名）でサービス提供をしました。入所、短期ともに、障害が重く、行動的な問題がある方がほとんどですが、本人のニーズを汲み取り、安心できる生活を提供できるよう支援しました。事業実績につきましては、以下のとおりです。

1. 利用者状況

数名の利用者を除いて帰省もほとんどなく、はるひ荘を中心とした生活の方が大半でした。

将来グループホームでの生活ができそうな利用者については、日中、法人内外通所施設（就労 B 2 名、生活介護 5 名）に通っていただき、職住分離を確立しました。

短期入所事業は、新規登録者数が 30 名で、障害児入所施設からの移行希望、障害が重く、他事業所を利用できなかった方の利用希望が目立ちました。利用希望者が極めて多く、予約制で利用していただいておりますが、緊急性が高く、家庭療育困難な方で日中支援も必要な方 4 名は、優先的に利用していただきました。

	定員	年度	開所日数	延利用者	利用率	1日平均利用者数
生活介護	40名	30年度	269日	9,900名	92.00%	36.80名
		29年度	202日	7,087名	87.71%	35.08名
施設入所	40名	30年度	365日	14,654名	100.36%	40.14名
		29年度	274日	10,980名	100.18%	40.07名
短期入所	5名	30年度	365日	1,829名	100.21%	5.01名
		29年度	244日	1,003名	82.21%	4.11名

※平成 29 年度は 7 月～3 月までの実績です。短期入所は空床利用を含みます。

2. 利用者の入退所状況

月 日	入 所		退 所	
	人数	備 考	人数	備 考
5月22日			1名	第2養和荘へ
5月23日	1名	短期入所長期利用者		
7月14日	1名	措置解除のため入所契約へ		

3. 利用者支援

(1) 日中活動

支援計画・支援手順書に沿って、本人のニーズ、障害特性を考慮し、日中支援を行いました。個別活動では、体力維持・集中力の向上を目標に、理学療法や自立支援課題に取り組むと共に、集団活動が身につくようダイナミックリズムや荘外歩行を行いました。

一日の予定は以下の通りです。

- 9：00～ 通所施設利用者通勤（送迎車両乗車）
9：50～ 朝礼・ラジオ体操（全員）
10：00～11：30 運動・ダイナミックリズム・自立支援課題・理学療法
13：30～14：50 運動・ダイナミックリズム・自立支援課題・理学療法
15：00～ スヌーズレン（月・水・金曜日女性、火・木・土曜日男性）

そのほか余暇時間に、絵画、園芸、生花を行い、毎週日曜日には喫茶室を運営しました。

(2) 行事

6月6日	野球観戦（招待行事）	ナゴヤドーム
7月12日	行楽 花フェスタ記念公園	男性利用者 4名
9月17日	きずなコンサート	男性利用者 3名
9月26日	行楽 ぎふ清流公園	男性利用者 3名
9月27日	行楽 ぎふ清流公園	女性利用者 9名
10月11日	行楽 名古屋港水族館	男性利用者 4名
10月23日	行楽 東山動物園	男性利用者 4名
10月27日	ワーカー鷹来 ふれあい祭り	利用者 2名
11月3日	春日苑文化祭	利用者 2名
11月4日	養和荘 ふれあい祭り	利用者 4名
11月20日	行楽 東山動物園	女性利用者 9名
11月21日	行楽 養老天命反転地	男性利用者 4名
11月30日	行事 アクア・トトぎふ	男性利用者 4名
12月11日	行事 名古屋港水族館	男性利用者 5名

1人1人のニーズにこたえる為、少人数で外出支援を行いました。

このほかに、11月にハロウィン、12月にクリスマス会、1月に新年会、3月にお疲れ様会、1年を通して1回から2回ずつ外食支援を行いました。

4. 健康管理

入院者3名（肺膿瘍2名、重責発作1名）、ケガでの縫合者2名、骨折2名、インフルエンザ罹患者14名でした。

定期健診・予防接種

5月15日	健康診断	名古屋公衆医学研究所
10月26日	健康診断	名古屋公衆医学研究所
11月5日	インフルエンザ予防接種	田島クリニック

往診等

毎月1回	健康相談等	沖医師
	内科医による診察	田島クリニック
	精神科医による診察	あさひが丘ホスピタル
9月（1回）	歯科検診	川原歯科医（養和荘）
3月（1回）	歯科検診	川原歯科医（養和荘）

5. 給食

隣接する A 型作業所キッチン高森に委託し、栄養面、嗜好、季節感等を考慮した食事の提供を行いました。さらに管理栄養士を配置し、嗜好調査を行い保護者に報告しました。栄養ケアマネジメントを取り入れ、月に一度の給食会議で話し合い、個々人の身体状況に合わせてカロリーの変更、食事形態の見直しを行ってきました。

6. 入浴

心身のリフレッシュと清潔保持のため、毎日入浴を実施してきました。

7. 環境整備

専門の清掃業者を入れ、尿・便失禁の多い利用者の居室を中心に保清に努めました。

また、障害特性からくる器物破損について（扉、ベッド、ベンチ等）は、その都度業者に連絡し修繕を依頼しました。器物破損による不具合で、利用者の生活に支障がないよう配慮しました。

8. 防災・防犯

避難経路マニュアルの見直し、火災・地震・風水害を想定した避難訓練を、利用者の安全の確保、生命の確保を念頭に実施してきました。

防犯に対しては、支援員への防犯用の笛の配付、防犯スプレー・防犯ブザーの配置、そして人感センサーを利用者玄関、非常口に計 7 個設置し対応しています。

訓練一覧

4 月中	通報訓練・施設内消防設備及び消防器具の説明（個別訓練）
5 月 25 日	夜間火災想定による避難訓練・消火訓練・通報訓練
6 月 29 日	夜間火災想定による避難訓練・消火訓練・通報訓練（雨天中止）
7 月 1 日	日中火災想定による避難訓練・消火訓練・通報訓練
9 月 3 日	日中 地震から火災想定による避難訓練・消火訓練・通報訓練
10 月 19 日	夜間火災想定による避難訓練・消火訓練・通報訓練
11 月 27 日	夜間火災想定による避難訓練・消火訓練・通報訓練
12 月 27 日	防災教育
1 月 24 日	風水害による避難訓練・通報訓練
2 月 27 日	緊急連絡網による連絡訓練
3 月 29 日	夜間火災想定による避難訓練・通報訓練

9. 地域交流

毎週日曜日の午前中、どんぐりの森の喫茶室をお借りして、喫茶室の運営を行っています。喫茶室では利用者 2 名、支援員 1 名、ボランティア 1 名で接客をしており、コーヒーの提供、なかぎりワークスのお菓子、キッチン高森の惣菜も販売しています。

また、毎月第 4 日曜日にはスノーズレン棟を予約制で地域の障害のある方に開放しています。